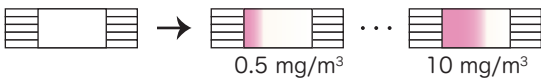


DT21

クロロアセトフェノン(CN)



実寸(約10cm)

感度	0.5 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	クロロアセトフェノンが存在する場合: 白色からラズベリーレッド色に変色します。 
反応原理	m-ジニトロベンゼン[m-dinitrobenzene]との反応 (ツィンメルマン反応[Zimmermann])
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層には、m-ジニトロベンゼン[m-dinitrobenzene]を含浸させたシリカゲルが含まれています。アンプルには、20%の水酸化ナトリウム[sodium hydroxide]が含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回100 mL)または自動ポンプで3L 空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	CWA のうち、CS 剤もラズベリーレッド色(最小感度 1 mg/m ³)となり、臭化ベンジルシアニド[bromobenzylcyanide]も同様の色となります。高濃度では、アセトン[acetone]、ブロモアセトン[bromoacetone]、およびツィンメルマン[Zimmermann]反応を呈するその他の物質も同様に反応します。
干渉性	特記事項なし
温度	10~50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
湿度	依存せず(反応過程で水が含まれるため)